

教科 国語 科目 現代文B

授業科目	現代文B	単位数	3単位	履修形態	必修・選択
履修学年	高校3年 普通科	コース			
教科書	新編 現代文B (大修館)	副教材	教科書準拠ワーク 図説 国語要覧 漢字問題集		
授業概要	2学年6単位で履修する現代文Bの後半の3単位。高校2年の正しい読解学習を足場として、作品の全体像をとらえ、内容をまとめる力を養成し、さらに作品に対する意見が述べられる力を着ける。読解のために重要な語彙力は課題として確実にこなし、漢字検定準二級取得を目標とするなど、大学入学共通テストや各筆記試験に取り組める学力を養成する。				
授業内容 および 到達目標		単 元	目 標	教 材	
	1 学 期	伝統を受け継ぐ 名作を読む 小説を読む	「ひかりのどけき春の日に」より筆者の意見と引用古典の趣旨をつかみ、日本人に共通する「桜への思い入れ」の輻輳性をとらえる。 ことば、音楽、住居から「間」を考える文より「間」に対する日本人の感性を一般化してとらえる。 「こころ」を恋愛から脱却して細部を読み込み「人はどう生きるべきか」を考える。 時代小説の主人公の小さな反発と自立の芽をとらえ、若者の心として一般化する。		
	2 学 期	社会に生きる 現代を考える	人生と人の社会的役割について述べた二つの評論文から「人は何の為に生きるのか」について、争点を踏まえた議論の方法を学ぶ。 現代文化によって変わる人間の生活や思想パターンについて、現象の理解と解釈の方法を学ぶ。 *以下 入試問題演習		
	3 学 期	読書の広場	「星の王子さま」など、映像化された著名な文学作品を学び、文章からの読み取りや、修辞の鑑賞法を学ぶ。		

教科 国語 科目 古典B

授業科目	古典B	単位数	2単位	履修形態	必修・選択
履修学年	高校3年 普通科	コース			
教科書	新編 古典B (大修館)	副教材	教科書準拠ワーク 図説 国語要覧 解析古典文法		
授業概要	2 学年5単位で履修する古典Bの後半の3単位。2年間で習得した古典文学の基礎力を用いて、作品の全体像を正しくつかみ、それを踏まえた上で細部を正しくとらえる読解力を身に付ける。全体像をとらえ、細部の読解につなげる技術でセンター入試レベルで力を発揮できるようにする。				
授業内容 および 到達目標		単 元	目 標	教 材	
	1 学 期	日記への招待	「土佐日記」「更級日記」を作品の執筆動機や態度と関連させ、作品ごとの読解ポイントに合わせてより深い読み取りをする。		
		物語への招待	誰もがその概略を知っている中国古典の物語を、その予備知識を使って細部まで正しく読む。		
		随筆・歴史物語	王朝時代の文学を古文読解の基本ポイントを踏まえて細部に注意を払いながら読む。		
	説得の技 (逸話)	為政者への説得に用いられた中国の逸話を、その視点から捉えて論点を読み取る。			
2 学 期	説話・日記	日本文学の伝統の一つ省略を補う読みを学ぶ。			
	英雄の物語 2 物語 人間の本質 道家・法家の思想	中国古代の豪快な描写と人物像とを味わう 源氏物語で既習の古文の読みの技術を駆使した読みの実践学習。 論語とは違う中国古代の思想を理解する *以下 入試問題演習			
3 学 期	恋の歌	短歌の技法習得から豊かな読解鑑賞をする			
	理想の世界	中国古代の物語から思想を読む			
	愛の行方	近世の人々の人生観恋愛観を知る			

教 科 社会科(公民) 科 目 現代社会

授業科目	現代社会	単位数	2 単位	履修形態	必修
履修学年	高校 3 年 普通科	コース			
教科書	実教出版 最新 現代社会	副教材			
授業概要	一年間を通じて、現在、世界・日本の中で起こっている様々な問題を理解することで一人の地球人としてどんな行動ができるのか考察する。				
授業内容 および 到達目標	単元	目標		教材	
	1 学 期	第 1 部 1 章～3 章	この章では我々が生活している社会ではどのような課題・問題があるのか理解する。		教科書
	2 学 期	第 2 部 1～3 章 1～2 章 1～2 章	この章では、自分らしく、一人の人間として、日本人としていかに生きていくのかを考察する。現代の民主政治、日本国憲法、経済社会と国民生活について考察する。 国際社会と人類の課題についても考察する。		教科書
	3 学 期	第 3 部 1～2 章	ともに生きる社会を目指していくうえで WTO 体制と発展途上国の課題や持続可能な社会について理解する。		教科書

教 科 地歴公民

科 目 日本史 B

授業科目	日本史 B	単位数	2 単位	履修形態	必修 ・ 選択
履修学年	高校 3 年 I 組	コース	普通科		
教科書	詳説日本史 B 改訂版 山川出版社	副教材	ワーク・資料集		
授業概要	日本の歴史を諸資料に基づき、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら理解させ、現代の諸課題を歴史的視点から考察し、国際社会に主体的に生きる自覚と資質を養う。				
授業内容 および 到達目標	単 元	目 標		教 材	
1 学 期	第 9 章 近代国家の成立	国際社会に組み込まれるという国際環境の変化に着目して、開国から明治維新に至るまでの過程を社会、経済面での変化と合わせて考察する。		教科書 資料集 ワーク	
		立憲国家の成立から日露戦争に至るまでの一連の流れを考察する。		教科書 資料集 ワーク	
2 学 期	第 10 章 二つの世界大戦 とアジア	第一次世界大戦前後の政治の動向及び対外政策の推移について、政党政治の発展や日本の中国進出の状況を踏まえて考察する。その後の国際社会の状況についても考察する。		教科書 資料集 ワーク	
		日中戦争の勃発から太平洋戦争の突入にいたる過程について、国民生活の変化や諸統制に着目して全体主義的な国家体制の進展を考察する。戦後の世界秩序についても考察する。		教科書 資料集 ワーク	
3 学 期	第 11 章 占領下の日本 第 12 章 高度成長の時代 第 13 章 激動する世界と 日本	戦後の国際秩序を踏まえ、占領政策及び戦後の民主化政策について考察する。冷戦の開始から経済大国への道までの流れを理解する。		教科書 資料集 ワーク	

教 科 数 学 科 目 数 学 II

授業科目	数学II	単位数	2単位	履修形態	必修・選択
履修学年	3年	コース	普通科		
教科書	数研出版 数学II		副教材	REPEAT 数II・B (数研)	
授業概要	<p>数学IIでは、皆さんが1年生で学んだ高校生として必要な基本や考え方を少し発展させていくとともに、三角関数、指数関数と対数関数、微分法、積分法という新しい課題について学習します。</p>				
授業内容 および 到達目標	単 元	目 標		教 材	
	一 学 期	三角関数 指数関数 対数関数	<p>*加法定理 加法定理、加法定理の応用と合成</p> <p>指数法則、指数関数とそのグラフ、対数の性質、対数関数とそのグラフ、常用対数</p>		REPEAT
	二 学 期	微分法 積分法	<p>*微分法 平均変化率と微分法、導関数、微分法の公式、接線、関数の増減、関数の極大・極小最大・最小、方程式・不等式への応用</p> <p>*積分法 不定積分、不定積分の計算、定積分、定積分の性質、面積</p>		REPEAT
	三 学 期		問題演習		REPEAT

教 科 数 学 科 目 数 学 ゼ ミ

授業科目	数学ゼミ	単位数	1 単位	履修形態	(必修)・選択	
履修学年	3 年	コース	普通科			
教科書	数研出版 数学Ⅱ		副教材	REPEAT 数Ⅱ・B (数研)		
授業概要	数学ゼミでは、数学Ⅱと並行履修となります。小テストを単元ごとなど、適宜行う予定です。					
授業内容 および 到達目標	単 元	目 標			教 材	
	一 学 期	三角関数 指数関数 対数関数	* 加法定理 加法定理、加法定理の応用と合成 指数法則、指数関数とそのグラフ、対数の性質、対数関数とそのグラフ、常用対数			REPEAT
	二 学 期	微分法 積分法	* 微分法 平均変化率と微分法、導関数、微分法の公式、接線、関数の増減、関数の極大・極小最大・最小、方程式・不等式への応用 * 積分法 不定積分、不定積分の計算、定積分、定積分の性質、面積			REPEAT
	三 学 期		問題演習			REPEAT

教 科 数 学 科 目 数 学 ゼ ミ ナ ー ル

授業科目	数学ゼミ	単位数	2 単位	履修形態	必修 ・ 選択	
履修学年	高校 3 年	科	普通科			
教科書	なし		副教材	数学 I, A, II, B (数研出版)、プリント		
授業概要	数学 I, A, II, B					
授業内容 および 到達目標	単 元	目 標			教 材	
	1 学期	数学 I A II B 演習 マーク模試 総合演習	数学 I A II B の全範囲を基礎から復習し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用しようとする。			
	2 学期	模擬問題 マーク模試 記述模試	数学演習問題を数多く解くことにより、基本的な数学の考え方を利用し問題を解く力を習得させ、大学入学共通テストの数学に対応できるようにする。計算力を高め素早い計算をできるようにし、大学入学共通テストにおいて利用する範囲を理解し活用するために練習を重ねることを継続して行っていく。			
	3 学期	模擬問題 直前対策 2 次試験対策	大学入学共通テストの学習レベルに到達し、短時間で基礎問題を解答する実力を身に付けさせる。自分のもてる力を総動員して課題を解決する活動を通して、一層理解を深めるようにする。			

教科 外国語 科目 英語表現Ⅱ

授業科目	英語表現Ⅱ	単位数	2単位	履修形態	必修・選択		
履修学年	高校3年 普通科	コース					
教科書	Vivid English Expression II	副教材	速読英単語 共通テスト テキスト				
授業概要	英文法を正しく理解し、表現できる。						
授業内容 および 到達目標		単 元	目 標	教 材			
	1 学 期	時制	英文法を正しく理解することができる。 英単語を理解し、書くことができる。 英文を正確に表現することができる。 文法を理解し、正しい選択をすることができる。	速読英単語			
		完了形					
		2 学 期				助動詞 受動態 不定詞 動名詞 分詞 関係詞	英文法を正しく理解することができる。 英文法を理解した上で、正しく正確に解答することができる。 英単語を正確に日本語に、日本語を英単語にすることができる。 日本語を見て、英文を表現することができる。 文法を理解し、正しい選択をすることができる。
3 学 期	比較 仮定法 さまざまな表現	英文法を正しく正確に理解することができ、その上で、正しく解答することができる。 英単語を日本語に、日本語を英単語にすることができる。 日本語を見て、英文を表現することができる。 文法を理解し、正しい選択をすることができる。	速読英単語				

教 科 共 通 社 会 ゼ ミ

科 目 現 代 社 会

授業科目	社会ゼミ		単位数	2 単位	履修形態	必修
履修学年	高校 3 年 普通科		コース			
教科書	実教出版 最新 現代社会		副教材	資料集・ワーク		
授業概要	現代社会に関連する様々な課題を取り上げ、日本の政治、経済を理解し、国際社会における日本の立場を理解する。					
授業内容 および 到達目標		単 元	目 標		教 材	
	1 学 期	第 1 章 現代の民主政治 と日本国憲法	民主政治の仕組みと課題を理解する。日本国憲法の成立過程と三大基本原理の内容を理解する。		教科書 資料集 ワーク	
	2 学 期	第 1 章 現代の経済社会 と国民生活	日本の政治機構と国会についての内容を理解し、政治に対する関心を高める。裁判所の役割についても考察する。		教科書 資料集 ワーク	
			資本主義経済の特徴を理解するとともに日本経済の課題を多面的、多角的に考察する。		教科書 資料集 ワーク	
3 学 期	第 1 章 私たちの 生きる社会	地球環境問題、資源・エネルギー問題、原子力と再生可能エネルギー、食糧問題など取り上げ解決策を考察していく。		教科書 資料集 ワーク		

教 科 英 語 科 目 ゼ ミ

授業科目	ゼミ	単位数	4単位	履修形態	必修・選択
履修学年	高校3年 普通科	コース			
教科書	大学入学共通テスト 英語 大学入学共通テスト対策リスニング	副教材	共通テスト 英語 40分プレノート 共通テスト 10分リスニングプレノート Skill Builder 長文読解		
授業概要	大学入学共通テスト対策として問題演習を中心に、既習の文法事項の復習と定着を図り、語彙力、読解力、リスニング力といった総合的な英語力向上を図りながら大学入学共通テストに必要な能力をバランスよく強化する。英語検定の取得に向けて対策も行う。				
授業内容 および 到達目標	単 元	目 標	教 材		
	1 学 期	文法事項の復習	既習の文法事項を正確に理解し定着させる。	40分プレノート Skill Builder	
		リスニング演習	語彙力、読解力、リスニング力の向上を図る。	10分リスニング	
	2 学 期	文法事項の復習	既習の文法事項を正確に理解し定着させる。	40分プレノート Skill Builder	
		リスニング演習	語彙力、読解力、リスニング力の向上を図る。	10分リスニング	
	3 学 期	問題演習	大学入学共通テストに向けた実践的な力を養う。	共通テスト予想 問題	
		リスニング演習	語彙力、読解力、リスニング力の向上を図る。	センター試験過去 問題等	

教 科 国 語 科 目 ゼミ選択 選択

授業科目	ゼミ選択	単位数	3単位	履修形態	必修 ・ 選択
履修学年	高校3年 普通科	コース			
教科書			副教材	進研 WINSTEP 現代文／古典	
授業概要	高校2年までに修得した国語学習法の基本を踏まえ、大学入試共通テストに向けた対策として、評論・小説・古文・漢文の演習問題を解きながら解き方のコツや知識を深め、学力の定着を図ることを目標とする。				
授業内容 および 到達目標		単 元	目 標	教 材	
	1 学 期	演習問題	評論・小説・古文・漢文のそれぞれの特性を理解し、解法のコツやポイントとなる知識を学び、内容理解に努める。	『日本人はなぜ狐にだまされなくなったか』 『源氏物語』 『清州橋』 『貞観政要』 など	
	2 学 期	演習問題	多くの演習問題を解き、文章の構造を意識する。知識理解を深めながら、問題を時間内にといていく力をつける。	『神の小さな庭で』 『栄華物語』 『岬へ』 『呂氏春秋』 など	
	3 学 期	演習問題	多くの演習問題を解き、文章の構造を意識する。知識理解を深めながら、問題を時間内にといていく力をつける。	センター過去問題 など	

教 科 英 語 科 目 ゼ ミ

授業科目	ゼミ	単位数	4 単位	履修形態	必修・選択
履修学年	高校 3 年 普通科	コース			
教科書	大学入学共通テスト 英語 大学入学共通テスト対策リスニング	副教材	共通テスト 英語 40 分プレノート 共通テスト 10 分リスニングプレノート Skill Builder 長文読解		
授業概要	大学入学共通テスト対策として問題演習を中心に、既習の文法事項の復習と定着を図り、語彙力、読解力、リスニング力といった総合的な英語力向上を図りながら大学入学共通テストに必要な能力をバランスよく強化する。英語検定の取得に向けて対策も行う。				
授業内容 および 到達目標	単 元	目 標	教 材		
	1 学 期	文法事項の復習	既習の文法事項を正確に理解し定着させる。	40 分プレノート Skill Builder	
		リスニング演習	語彙力、読解力、リスニング力の向上を図る。	10 分リスニング	
	2 学 期	文法事項の復習	既習の文法事項を正確に理解し定着させる。	40 分プレノート Skill Builder	
		リスニング演習	語彙力、読解力、リスニング力の向上を図る。	10 分リスニング	
	3 学 期	問題演習	大学入学共通テストに向けた実践的な力を養う。	共通テスト予想 問題	
		リスニング演習	語彙力、読解力、リスニング力の向上を図る。	センター試験過去 問題等	

教 科 理 科 科 目 理 科 ゼ ミ

授業科目	理科ゼミ	単位数	2 単位	履修形態	選択必修
履修学年	3 年	コース	普通科		
教科書	第一学習社 改訂高等学校生物 東京書籍 新編化学基礎	副教材	第一学習社 セミナー生物 第一学習社 プロGRESS化学基礎		
授業概要	生物基礎・化学基礎の知識をさらに深め、大学入試に対応できる知識を身につけます。				
授業内容	単 元	目 標			教 材
および 到達目標	1 学 期	生物基礎	教科書の復習と問題演習を行い、基礎学力を向上させる。模擬試験や入試問題の演習を行い応用力を高める。		教科書 問題集
	2 学 期	化学基礎	教科書の復習と問題演習を行い、基礎学力を向上させる。模擬試験や入試問題の演習を行い応用力を高める。		教科書 問題集 インターネ ット
	3 学 期	生物基礎・化学基 礎	教科書の復習と問題演習を行い、基礎学力を向上させる。模擬試験や入試問題の演習を行い応用力を高める。		教科書 問題集

教科 選択ゼミ社会(公民)

科目 現代社会

授業科目	社会ゼミ	単位数	2 単位	履修形態	選択
履修学年	高校 3 年 普通科	コース			
教科書	実教出版 最新 現代社会	副教材	資料集・ワーク ニュース検定テキスト		
授業概要	現代社会に関連する様々な課題を取り上げ、日本の政治、経済を理解し、国際社会における日本の立場を理解する。				
授業内容 および 到達目標		単 元	目 標	教 材	
	1 学期	第 1 章 現代の民主政治 と日本国憲法	民主政治の仕組みと課題を理解する。日本国憲法の成立過程と三大基本原理の内容を理解する。	教科書 資料集 ワーク	
	2 学期	第 1 章 現代の経済社会 と国民生活	日本の政治機構と国会についての内容を理解し、政治に対する関心を高める。裁判所の役割についても考察する。	教科書 資料集 ワーク	
			資本主義経済の特徴を理解するとともに日本経済の課題を多面的、多角的に考察する。	教科書 資料集 ワーク	
3 学期	第 1 章私たちの 生きる社会	地球環境問題、資源・エネルギー問題、原子力と再生可能エネルギー、食糧問題など取り上げ解決策を考察していく。	教科書 資料集 ワーク		

教 科 芸 術

科 目 音 楽

授業科目	音楽 I	単位数	1 単位	履修形態	必修 ・ 選択
履修学年	高校 3 年	コース	I C T 科 ・ 普通科		
教科書	音楽之友社		副教材		
授業概要	歌唱、器楽、鑑賞などの音楽の諸活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の多様な音楽、音楽文化と深くかかわる。				
授業内容 および 到達目標	単元	目標		教材	
1 学 期	楽典・ギター	コードの種類を覚え、和音の織りなす美しさを味わう。		ギター	
	創作アンサンブル	歌、ギター、リコーダー、鍵盤ハーモニカ、グロックンなどを使い、どのパートをどの楽器で演奏するのがふさわしいか考えながら、自分たちでアンサンブルで演奏する。		星野源「うちで踊ろう」	
	アンサンブルを楽しもう	声や楽器を組み合わせる演奏したり、創作を通して、それらに必要な技能を高め、イメージをもって創造的に表現する。		島人ぬ宝	
	民族と音楽（1） 日本のこころ	音楽の諸活動を通して、日本の様々な音楽に触れ、その良さや美しさを理解する。		椰子の実	
2 学 期	民族と音楽（2） 世界の旅	歌唱や鑑賞を通して、世界の音楽の種類や特徴を文化的背景とかかわらせて理解し、その良さを味わう。		おおシャンゼリゼ	
	劇と音楽	ストーリーと音楽のつながりを感じ、音楽の役割について考える。		美女と野獣 Memory	
3 学 期	合唱	合唱音楽を体験し、他者との調和を意識して歌うとともに、表現形態の特徴や表現上の効果を生かして歌う技能を身に付ける。		次の空へ	

教科 保健体育

科目 体育

授業科目	体育	単位数	3単位	履修形態	○必修 ・ 選択
履修学年	高校3年	コース	普通科		
教科書	なし	副教材	アクティブスポーツ 大修館書店		
授業概要	自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任などに対する意欲を高め、生涯スポーツの実現を目指す。				
授業内容 および 到達目標	単 元	目 標			教 材
	1 学 期	体育理論	現代のスポーツの特徴について理解できるようにする。		
		体ほぐし運動	運動を通して、自己の体に関心を持ち、自分や仲間 の状態に気づくことができるようにする。		
		新体力テスト	持久走を含む8種目 Aランクを目標		
		水泳	自由形・平泳ぎ・背泳ぎの3泳法の個々の能力に 合った目標タイムを設定し記録向上に向けた練習 を進める。		
		バスケットボール	ドリブル、パス、シュートの技術向上を図り、よ り高度な試合展開ができるようにする。		
	2 学 期	ダンス	創作の質を高め、ダンスの技術の向上と自己表現 の楽しさを味わう。		
		器械運動	柔軟性を高め、多様な技を組み合わせた演技をし、 成功した時の喜びを味わう。		
		体育理論	現代のスポーツの特徴について理解できるように する。		
		新体力テスト	持久走を含む8種目 Aランクを目標		
	3 学 期	サッカー	チームでの連携を図り、より高度な試合展開がで きるようにする。		
武道		相手の動きの変化に応じて、多様な技への連絡を 用いて高度な試合展開ができるようにする。			